

研究課題番号	5RF-2302
研究課題名	ドローン計測とシームレス領域モデルに基づく越境する光化学オキシダントの立体構造の解明
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	九州大学
研究代表者名	板橋 秀一

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

東シナ海洋上を越境輸送される光化学オキシダント（オゾン）の高度別濃度変化について、ドローンによる立体大気観測とモデルシミュレーションの組み合わせでその実態解明を目指す研究であり、計画通りに順調に進捗していると評価される。加えて、当初計画にはない長崎五島域での秋季の光化学スモッグ注意報イベントの解析など領域モデルの応用研究も進められている。他方、観測されたオゾン鉛直分布をモデルでうまく再現できていないという課題もみつき、モデルパラメータの見直しも考慮されている。研究期間の後半においては、ドローン搭載のオゾンセンサーおよびPM2.5センサーによる同時観測データ拡充と解析、周辺地上局データなどの活用による日内変動の解析などにも期待したい。